



# プレス発表資料

# e 自警灯



## 世界初!!

## プライバシー保護機能付き

## 防犯カメラ内蔵 LED 防犯灯

2009/10/28  
NPO 法人 e 自警ネットワーク研究会  
株式会社トステック  
株式会社ロッキー  
群馬大学工学部

### 【日時・場所】

日時： 2009 年 10 月 28 日（水）16:00～17:00  
場所： 桐生市市民文化会館・4 階（国際会議 SPC2009 会場内）

### 【要旨】

プライバシー保護のための暗号化保存機能付のついた、防犯カメラシステム（e 自警カメラ）を防犯灯内部に設置した「e 自警灯」を、NPO 法人 e 自警ネットワーク研究会、株式会社トステック、株式会社ロッキー、群馬大学工学部の 4 者が共同開発した。e 自警灯は、直近 1 週間分の画像を内蔵したメモリカードに画像を暗号化して保存する。暗号の解除には、解除パスワードと、専用ソフトウェアをインストールした PC が必要となる。e 自警灯の所有・管理者は町内会、解除パスワードと専用ソフトウェアは警察署が所有することにより、町内の安全・安心を脅かす事件・事故が発生したときのみ、町内会から警察署に画像が提供され、警察署において暗号解除され、捜査に役立てることが可能となる。e 自警灯の開発により、平常時のプライバシーを完全に保護しつつ、有事の際には、町内中の画像が確実に警察に渡る、低コスト防犯カメラシステムの実現が可能となる。

### 【共同開発者】

NPO 法人 e 自警ネットワーク研究会  
株式会社トステック  
株式会社ロッキー  
群馬大学工学部

### 【主な特徴】

- ・ 防犯灯内に防犯カメラを内蔵。
- ・ PC 不要の All-in-One タイプ。
- ・ 画像の暗号化保存で、「プライバシー侵害の可能性」を極小化。
- ・ 通常の防犯灯と同様、AC 電源投入で動作を開始。
- ・ 常に直近約 1 週間分の画像を、暗号化した上でメモリカードに保存。
- ・ 暗号化解除できる「暗号解除ソフトウェア」をインストールした PC を別途用意。
- ・ LED 灯使用の為、長寿命。従来の蛍光灯と比べ 5 倍以上、約 1 1 年使用可能。

### 【利用形態】

- ・ 「e 自警灯」と「暗号解除ソフトウェア」を組み合わせる。
- ・ たとえば、「e 自警灯」1000 台と「暗号解除ソフトウェア」を組み込んだ PC 1 台で運用する。
- ・ 「e 自警灯」は、個々の「所有者（町内会、PTA など）」が設置する。
- ・ 「暗号解除ソフトウェア」は、暗号解除パスワードを保有する「閲覧権者（警察署、学校職員室、

- 町会長宅など)」が管理する特定の場所に設置されたPCにインストールする。
- ・ 地域の安全・安心を脅かす出来事（事件・事故・不審者など）があった場合、「所有者」の自由意志に基づき、カメラ内蔵のメモリカードが「閲覧権者」に渡され、犯罪捜査等に役立てられる。
  - ・ 地域の安全・安心を脅かす出来事がない限り、「所有者」は「閲覧権者」に暗号化された画像の入ったメモリカードを提供しないようにする。（町内会等での申し合わせ、導入に当たってのルールとして、決めておく。）



図1 e自警灯の外観



図2 新開発の防犯カメラシステムユニット（手前が本体内部に装着するメモリカード）

#### 【利用形態】

- 「e自警灯」と「暗号解除ソフトウェア」を組み合わせる。
- ・ たとえば、「e自警灯」1000台と「暗号解除ソフトウェア」を組み込んだPC1台で運用する。
  - ・ 「e自警灯」は、個々の「所有者（町内会、PTAなど）」が設置する。
  - ・ 「暗号解除ソフトウェア」は、暗号解除パスワードを保有する「閲覧権者（警察署、学校職員室、町会長宅など）」が管理する特定の場所に設置されたPCにインストールする。
  - ・ 地域の安全・安心を脅かす出来事（事件・事故・不審者など）があった場合、「所有者」の自由意志に基づき、カメラ内蔵のメモリカードが「閲覧権者」に渡され、犯罪捜査等に役立てられる。
  - ・ 地域の安全・安心を脅かす出来事がない限り、「所有者」は「閲覧権者」に暗号化された画像の入ったメモリカードを提供しないようにする。（町内会等での申し合わせ、導入に当たってのルールとして、決めておく。）

#### 【実用化の見通し】

- ・ 既に、製品化の目処は立っている。
- ・ 防犯灯の電源を使用することで、防犯カメラシステム用に電源をとる必要がない。
- ・ 価格は防犯灯のみの設置コストと同程度（予想小売価格：5 - 7万円）である。

- ・ 一般通行人に対するプライバシー侵害の危険性が極めて低く、悪用される恐れも小さいので、行政による補助金支給対象になることが期待できる。
- ・ 地域、町内、学区など、団体での一括導入に適しており、町内会やPTAによる組織的導入が行われることが期待できる。



図3 左右のカメラの保存画像（昼間、暗号解除後）



図4 左右のカメラの保存画像（夜間、暗号解除後）

#### 【e自警ネットワーク研究会が目指すもの】

「e自警灯」は、これまでの問題点の多くを解消したe自警カメラ（PC不要、屋外設置可能、AC電源投入で即動作開始、直近1週間分の画像を暗号化保存、と、数々の新機軸を取り入れている）を内蔵しており、導入・運用に特別な知識は不要である。覗きなどに悪用される恐れも極めて低い。「e自警灯」の登場により、地域社会への防犯カメラの普及が爆発的に進展し、**「地域社会で発生する誘拐事件、凶悪事件などにおいて、目撃情報がないことがあり得ない社会」が実現することを期待している。**

#### 【プレス発表資料】

日本語版：

[http://www.el.gunma-u.ac.jp/~fujii/Materials/PReJikeiLight\\_J.doc](http://www.el.gunma-u.ac.jp/~fujii/Materials/PReJikeiLight_J.doc)

英語版：

[http://www.el.gunma-u.ac.jp/~fujii/Materials/PReJikeiLight\\_E.doc](http://www.el.gunma-u.ac.jp/~fujii/Materials/PReJikeiLight_E.doc)

#### 【連絡先】

NPO e自警ネットワーク研究会 理事長 藤井雄作（群馬大学工学部 教授）

居室：0277-30-1756

携帯：080-3550-5585

[fujii@el.gunma-u.ac.jp](mailto:fujii@el.gunma-u.ac.jp)